

事業の基礎情報

実施主体	一般社団法人新しいひろば
事業実施地域	豊岡市日高町全域（部分的に豊岡市全域および養父市における運行の可能性あり）
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ こども・子育て ・ 教育・スポーツ・文化 ・ 商業・農業 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	全但バス（株） （株）アンズケア （一社）新しいひろば
運行形態	路線バス、乗合タクシー、一般・介護タクシー、自家用有償運行、等を織り交ぜてパッケージ化
運行主体	全但バス（株）

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

中山間地域である豊岡市では少子高齢化も伴い市の交通体系は、自治体からの多額の補助金等によりかろうじて維持されている状況である。TSCでは、市役所・地域の交通事業者・他分野の事業者と業界を越えた共用モビリティの可能性を議論してきた結果を踏まえ、交通×福祉の共創モデルである「福祉モビリティ豊岡モデル」の社会実装に向けた展開をさらに加速させ、まちづくりとの掛け合わせも含めて全国展開につながるパッケージへのブラッシュアップを推進する。

（事業の概要）

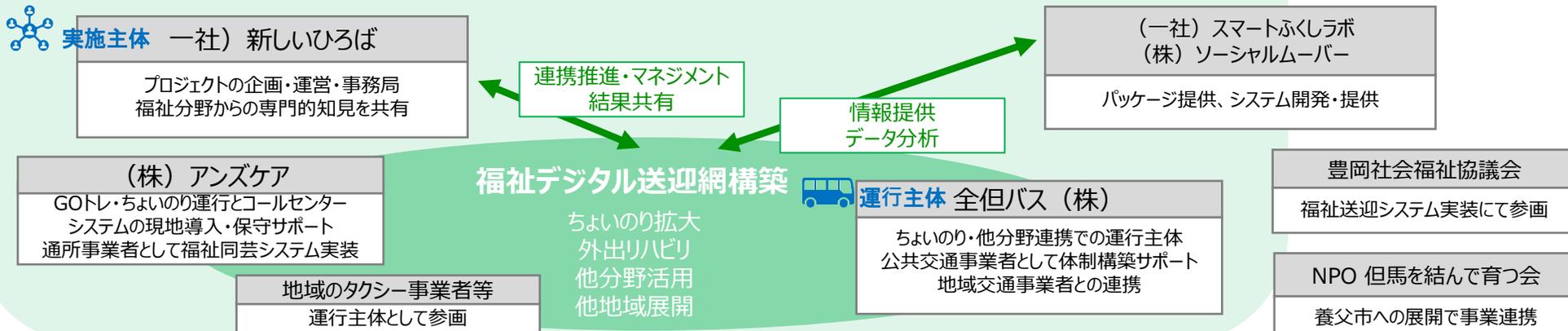
- ・福祉サービス送迎業務デジタル化および送迎業務委託等で構築された福祉デジタル送迎網の密度・範囲拡大のために福祉事業者参画を推進する。
- ・公共交通を担う全但バスグループの参画範囲を拡大するとともに、利用者とのマッチングシステム実装により福祉D送迎網の運行へ参画を促す。
- ・上記によりスケールアップした福祉D送迎網を活用し、「高齢者外出支援サービス“ちょいのり”」および「送迎委託」の効率を改善させる。
- ・参画事業者の座組や、有する仕組みをより一層汎用的なパッケージとして整理し他地域への展開を推進する。養父市においては行政および地域づくりを主導する団体との連携により部分的な実証を予定する。

事業の全体像・共創の仕組み



豊岡スマートコミュニティ推進機構 (TSC)

豊岡市・公共交通事業者・地域住民等と連携  
各ステークホルダーとの調整や橋渡し等を担う



(地域の関係者との連携・協働)

元来の協議から全但バスをはじめとする公共交通事業者やタクシー事業者とは方向性が合致している背景を有効に活用し事業を進めていく。市役所は公共性の担保の面でエッジの効いた取り組みを推進するのは難しく、交通事業者は厳しい経営環境にあり新たな取り組みのリソースが足りない状況において、TSCをプラットフォームとして福祉の視点を取り入れつつシェアリングさせていくことで新たな方向性を見出すフィールドを提供。教育や子育て、演劇、まちづくり等の関係団体・行政担当者とも連携をとれる関係性を構築できている。今後、行政の見据える方向とも足並みを揃えることで市民の新たな移動手段として公共交通に置き換わる選択肢ともなり得る姿を見据えていく。

(実証事業により見込まれる効果)

R5年度の実証PJTにより、「豊岡福祉モビリティ」では福祉事業者・交通事業者・利用者の三方良しとなるモデルを構築することができているが、福祉デジタル送迎網をさらに活用してアドオンのさまざまな機能を付加していける余地を残している。今までの協議や地域との繋がりの中で、子どもの部活動地域移行や習い事送迎や、高齢者の外出支援、観光における移動手段の選択肢の少なさは浮き彫りになっており、この点をフォローすることで市民の新しい交通手段の新たな選択肢となり得るモデルと考えている。また、全国にさきがけて少子高齢化の進むこの豊岡の地域において、デジタル化とあわせて現有のリソースをシェアリングしつつ最適化することで成り立つモデルが実証することで、近隣地域をはじめ、同じような課題に悩む地域に横展開していける可能性を見込む。富山県黒部市「GOトレ」の他地域展開にも寄与し「共創の共創」を実現する。

